

五霞町 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和 3 年 1 月)等を踏まえ、五霞町では目指す学びの姿を「自ら学び、自ら考える力を開発し、確かな学力と生涯学習の基礎を築く」とする。具体的には、1 人 1 台端末・クラウドツールなどを活用し、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて、いつでもどこでも学ぶことができ、ダイバーシティー社会で一人ひとりの能力を十分に発揮できること。多様な学び且つ主体的・対話的で深い学びができることを目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

五霞町では、これまで 1 人 1 台端末の整備と共に、校内などの通信ネットワークの整備を進めてきた。一方で、教職員の ICT を活用した指導する能力については、教職員の意識・スキルといった面で学校内又は学校間での格差がある。今後、より一層 1 人 1 台端末の利活用を進めていくには端末、通信ネットワークや周辺環境等の整備に加え、教職員の ICT を活用した指導力の向上が求められると考えている。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

端末の利活用を進めていくにあたり、端末の整備・更新により、児童生徒向けの 1 人 1 台端末環境を引き続き維持していくと共に、1 人 1 台端末の利活用方策として以下について検討していく。

- ・教職員向けにクラウドを活用した授業の研修を実施し、共同編集や他者参照の学びを教職員が実際に体験し、ICT を活用した個別最適な学び、協働的な学びを授業で行うことができるようにする。
- ・教職員向けの ICT 研修を設け、受講率を 100% にすることに加え、ICT 支援員の整備を検討する。
- ・希望する不登校児童生徒への支援
- ・希望する児童生徒への端末を活用した教育相談
- ・外国人児童生徒に対する学習活動等の支援
- ・障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じた支援